

病院長名	後藤 百万
	〒457-8510
所在地	愛知県名古屋市中区三条一丁目 1 番 10 号
交通案内	名鉄「神宮前駅」、地下鉄「伝馬町」、JR 東海「東海道本線 熱田駅」・「中央本線 金山総合駅」 各駅より市バスにて 栄 21・神宮 12・金山 19 系統「中京病院」下車（徒歩 1 分）

□ 病院の特徴

2014 年 4 月より「独立行政法人地域医療機能推進機構 中京病院」として新たにスタートした当院は名古屋市中区に位置する 31 診療科 661 床、医師数約 200 名の総合病院です。**救命救急センター**を設置するほか、**ICU、救命 ICU、NICCU** 等の高機能病床及び**熱傷センター、脳卒中センター**、がん診療センターなどの診療組織を持ち、平均在院日数 11 日台の急性期医療を展開しています。特に**熱傷診療**は**全国随一**の患者数を誇っています。

2006 年には地域医療支援病院に 2007 年には地域がん診療連携拠点病院指定され、名古屋を代表する大規模総合病院の 1 つとして名古屋中南部の中核病院の役割を担っています。

□ 研修プログラムの特徴 【救急】

独立行政法人地域医療機能推進機構

中京病院 救急科専門研修プログラム

【研修目標】

1. 様々な傷病、緊急度の救急患者に、適切な**初期診療**を行える。
2. 複数患者の初期診療に同時に対応でき、**優先度を判断**できる。
3. 重症患者への**集中治療**が行える。
4. 他の診療科や医療職種と連携・協力し良好なコミュニケーションのもとで診療を進めることができる。
5. 必要に応じて病院前診療を行える。
6. 病院前救護の**メディカルコントロール**が行える。
7. **災害医療**において指導的立場を発揮できる。等

【研修期間】

3 年

【研修スケジュール】

2 年 3 ヶ月を中京病院救急科で研修し、プレホスピタルの段階から救急外来初期診療、手術・処置、集中治療を経、受持患者が転科・転院・退院するまでの間、**主治医として一貫した診療**を行います。6 ヶ月～1 年 6 ヶ月は連携病院から 1～2 施設を選択して出向します。



▲Dr. ヘリで患者搬入

▲ICU での熱傷処置



□ 主な連携施設

信州大学病院、岐阜大学病院、愛知医科大学病院、大阪大学附属病院、名古屋市立大学医学部付属東部医療センター、名古屋掖済会病院、日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院、鹿児島市立病院、社会医療法人仁愛会 浦添総合病院、手稲溪仁会病院、大阪府泉州救命救急センター、東京都立多摩総合医療センター

□ メッセージ

指導医 （救命救急センター長 氏名 大須賀 章倫）

「生死の境にある重症救急患者を救う医師になりたい」この想いで集まった救急医の集団が中京病院救急科です。当院では、救急科創設以来、救急専門医が誇りをもって重症救急患者の診療に専念できる院内体制を構築してきました。中京病院の最大の特徴はわが国随一の熱傷患者搬入数ということです。当院での研修では広範囲熱傷・気道熱傷などの患者さんの初期治療から手術、集中治療管理に至るまで一貫して学ぶことができます。救急医療では医学的緊急度と重症度を素早く判断し、適切な治療を行うことが必要です。しかし重症が軽傷かは診療して初めてわかることです。ただの風邪のようでも実は重篤な病気であることもあります。軽い頭部打撲と誤っていても状態が悪化することもあります。「重症」だけを「救急」として対応するなら、こうした患者さんの診療がないがしろになってしまいます。専門領域の救急疾患のみを対象とする臓器別専門診療科としての対応ばかりでなく、すべての救急患者さんの安全を確保するためには、年齢、重症度、診療領域を限定せずすべてを受け入れ、いずれの緊急性にも対応できる専門医の存在が必要になります。当院には 5 人の個性豊かな指導医が在籍しており、年間 6000 台の救急車を受け入れています。業務は完全シフト制ですので、専攻医の先生方は楽しみながら、救急医療のスペシャリストになることができます。ともに救急の未来を支える医師になりましょう!!



□ 募集要項

・採用予定人数	4 人
・給与／月額	1 年目 427,000 円、2 年目 449,000 円、3 年目 470,000 円
・当直回数／月	4 回～6 回
・当直料／回	実働時間 時間外手当として支給
・その他	賞与あり(年 2 回)、住居手当あり(最高 28,000 円)
・応募連絡先	担当者 総務企画課 石原
	電話番号 052-691-7151
	E メール senmon@chukyo.jcho.go.jp